



第5回校内授業研究会



研究主題

平成24年9月26日(水)

学び合いを通して、自他のよさに気づき、豊かな生活を創り出す子ども

■ 2校時(9:40~10:25)おひさま教室

おひさま学級 石山 裕 教諭

学級活動 「4人が楽しめるゲームや遊びをしよう」

■ 4校時(11:40~12:25)3年2組教室

3年2組 沼澤 豊 講師

学級活動 「なかよくきょう力しよう会を開こう」

13:00-13:45

3年2組授業についての
指導(武田先生より)

※会議室にて

■ 14:10~15:45 <事後研究会> 会議室

~おひさま学級について~

司会:高橋純

記録:蜂谷

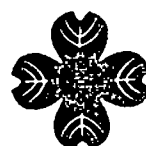
1. 開会のあいさつ
2. 校長あいさつ
3. 講師の先生のごあいさつ
4. 話し合い・助言
5. 全体指導
6. お礼の言葉
7. 授業者より一言
8. 閉会のあいさつ

講師 : 県教育センター

佐藤和明先生

山形市立南沼原小学校

武田信喜先生



天童市立長岡小学校

おひさま学級 学級活動指導案

平成24年9月26日(水) 2校時

おひさま 男子3名 女子1名 計4名

指導者 教諭 石山 裕

情緒加配 遠藤 敦子

介助員 日野くみ子

1 議題名 4人が楽しめるゲームや遊びをしよう

2 議題について

(1) 本学級の児童

- YS男 3年 話合い活動のすべてに参加するのは難しいところもあるが、自分の意思を公表することはできる。ある程度みんなと一緒に同じゲームや遊びを楽しむことができる。興味を失うと本を読んだり黒板に絵を描くなど、自分をやりたいことを始める時がある。
- HK男 4年 「4人が楽しめる」という視点がある程度持って、ゲームや遊びを考えることができる。実際のゲームや遊びでも中心となって活動する。遊びを発展させたり変化させたりすることもできるが、時に全体の流れから大きくはずれる行動となってしまうこともある。
- MK女 4年 本人の意思を明確に示すこと、また周りがくみ取することは難しい。支援者の援助に基づいて活動することはできるが、予想や思いとははずれた行動をとってしまうことも多い。
- SS男 5年 本人の思いや意思は持っているが、それを表現することが苦手である。ゲームや遊びは、決まったことはみんなと一緒に楽しむことができる。

本学級は自閉・情緒障害の学級で、学習の基本スタイルは個別学習である。しかし、これまで生活単元学習や生活科を中心に、4人が一緒に学習活動をする機会やなかよし学級(知的)と合同の時間も多く取ってきている。人とのかかわり方に多くの課題を抱えている子どもが多いのだが、活動を共にすることで仲間意識が生まれてきている。合同学習をすることで、友だちの意見を参考にする機会が増え、安心感を持って話合い活動に取り組むことができる場面もみられるようになってきている。今回の活動では、これまで培ってきた力を生かし、4人での話合いで集団決定するまで、何とかできるのではないかと考えている。

(2) 議題設定の理由

今回の議題は、学級活動の内容「共通事項(1)学級や学校の生活づくり」と位置づけ、学級の友だちとの生活を楽しめるものにするための、話合い活動を行うものである。

二つの学級で、入級以来、継続して経験してきている「お誕生会」は、一大イベントとして子どもたちのモチベーションが高い活動である。「ゲーム」を何にするかを話合い、その会独自の工夫や新しい試みなども集団決定をする場にしてきた。これまでの積み重ねがあるので、子どもたちにとっては活動を具体的にイメージすることができ、自分なりの意見や考えをもって話合い活動に取り組むことができると考えている。

また、おひさま学級としては、昨年度に同じメンバーで「みんなでできるゲームや遊びしよう」を体験しているので、その経験も踏まえて活動のレベルアップができると考えている。

4人がもっともっと仲よくなるために、「4人が楽しめる」を話合いのキーワードとして、自分や相手のことを考える場となるようにしていきたい。

3 指導の構想

本校研究テーマ「学び合いを通して、自他のよさに気づき、豊かな生活を創り出す子ども」に関わって、以下の三つの視点から指導・支援する。

(1) 視点1 (生活から立ち上げる議題提案)

子どもたちが自分の生活の場を意識し、学校や教室での生活や各種行事、物理的な環境更に友だちや支援者などの人間関係を考えながら、よりよい学習活動ができるように、これまで次のような活動を行ってきた。

①平成21年度～23年度に行った居住地校交流

長岡小学区に住まいY養護学校に通うIRくんと、3年間「居住地校交流」として年間3回の交流学习を行ってきた。

どんなことをするかの話し合いでは、車椅子で生活するIRくんに合わせた遊びや活動場所を考えることができるようになってきた。

②「おひさま喫茶店」の活動

昨年度「みんなでできるゲームや遊びをしよう」という学習から、「パン屋さんがしたい」という声が子どもたちからでた。それを受けて、パンと飲み物を用意して喫茶店を開いた。なかよし学級の友だちを招待する場面と、授業参観の折に保護者を招待する場面を設定した。

③議長の経験

今年度になって、話し合い活動やオリエンテーションの議長を子どもたちが輪番で行っている。簡単なマニュアルを準備して支援し、ある程度議事の進行を任せてみている。

④市内なかよし学習会のオリエンテーションと振り返り

オリエンテーションをして、楽しみなことややってみたいことを発表する。事後に楽しかったことや感想を発表し振り返りをする。

⑤入学式

なかよし学級に2名の新入生を迎える入学式。迎える心構えやがんばることのめあてを決め、事後にその振り返りをした。

(2) 視点2 (相手意識や目的意識を大切にしたい話し合い活動)

4人が楽しめるゲームや遊びにしようというめあてのもと、活動を進めていく。

それぞれが考えた「みんなで楽しむゲーム」の中で、特にMK女ができることを考え、楽しめそうなものを選ぶことができるようにしたい。しかし、論理的な理由や訳をしっかりと相手を手を説得したり、逆に相手の理由や訳を理解し納得したりする力は十分であるとはいえない。むしろこだわりが強く自分の主張を曲げなかったり、その場の雰囲気や突然変更したりすることのある子どもたちなので、状況や個に応じた支援の方法を持っていることが必要となる。

集団決定や折り合いをどのようにつけるかを想定しておくことも必要になるだろう。そこで、次のような視点を考えていきたい。

- ①相手に自分の考えを伝えることができる
- ②相手の意見で自分の考えを変えることができる
- ③自分の意見を通したいとき、理由や訳を話すことができる
- ④「4人が楽しめる」ということを判断の基準にできる

(3) 視点3 (よりよい自分・集団への高まり)

話し合い活動の中で、意思表示をしたり、友だちの意見を取り入れたりすることができるように励ましていく。そして、できたことをほめ、次への意欲づけとなるようにしていきたい。

子どもたちがお互いの良いところを見つけ、相手に伝えることができるように支援していきたい。特に今回は、4人ができて楽しそうだな・やってみようと思った自分の気持ちを素直に表現することができるようにしていきたい。

意見としてでてきた「4人が楽しめる」ゲームや遊びは、今後の活動の中で生かしていくようにしていく。

4 活動計画

	日 時	児童の活動内容	活動の場
これまで	平成23年10月～	【みんなのできるゲームや遊びをしよう】	学級活動 生活
本時	9月26日(水)	【話し合い活動】 遊び・ゲームの決定 ・決定のための話し合い ・4人で遊んでみる	学級活動
これから	9月27日(木)～	【4人が楽しめる遊び・ゲーム】 ・4人でいっぱい遊ぶ 【お誕生会のゲームを考えよう】 ※ なかよし学級のと合同学習の場合 もあり	生活 学級活動 生活単元学習

5 本時の指導計画

(1) ねらい

友だちのことを考えて、ゲームや遊びを選んだ理由を表現することができる。

(2) 個別の目標

YS男 3年 やってみたいゲームや遊びを発表することができる。

HK男 4年 「4人が楽しめる」ことを考えながら、ゲームや遊びを発表することができる。

MK女 4年 絵や写真などをみながら、自分のやってみたいことを伝えることができる。

SS男 5年 やってみたいゲームや遊びを発表し、活動を楽しむことができる。

(3) 指導過程

話し合いの流れと予想される児童の意見など	指導上の留意点と支援・評価 (◆)
<p>※議長の選出；</p> <p>1 はじめの言葉</p> <p>2 議題と今日の活動の確認</p>	<p>・議長には、話し合い進め方マニュアルをもたせる</p>
<p>やってみたいゲームや遊びを発表する その発表をみて、4人が楽しめるものを考える 〈話し合いのときの注意点〉</p> <p>①自分がしたいことをみんなに伝える ②友だちの意見を聞いて自分のしたいこと変えてもいい ③自分の意見を通したいときは、きちんと理由や訳を話す ④「4人が楽しめる」かどうかを考える</p> <p>ゲームや遊びをやる</p>	
<p>3 やってみたいゲームや遊びの発表</p> <p>・自分がやってみたいゲームや遊びを発表する</p> <p>4 話し合い</p> <p>・4人が楽しめるかどうかを考える</p> <p>5 ゲームや遊びをしてみよう</p> <p>・ゲームや遊びを一つやる</p> <p>6 先生の話</p> <p>7 おわりの言葉</p>	<p>・これまでの経験や体験を思い出しながら発表できるように支援する。</p> <p>・MK女のためにはこれまでの活動の様子の写真を用意する。</p> <p>・話し合いの注意点④を意識して、意思を伝えられるように促していく。</p> <p>・4人が楽しめるものとは違うとなったものは、「ありがとうポケット」に入れ、別な活動のときの参考にする。</p> <div data-bbox="852 1805 1414 2002" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆自分の意思を表現したり、友だちの意見をしっかり聞いて、友だちのことを考えたゲームや遊びを選んだ理由を表現することができたか。</p> </div>

平成24年度9月26日(木)

4校時

男子14名 女子9名 計23名

指導者 沼澤 豊

1 議題名 「なかよくきょう力しよう会を開こう」

2 議題について

(1)本学級の児童

3年生になってクラス替えが行われ、新しい仲間とともにスタートをきった。自分をどんどん主張したい子どもたちもいるが、そのかげに隠れてしまいなかなか自分を出せないでいる子どもたちもいるクラスでもある。最初のころは、自分がやりたいことに対してうまくいかないことがあると相手のせいにしたり、我慢できずに物にあたりたりと、相手をけなすような心無い言葉が連続し、学級全体が落ち着かない方向へ流されていくことが目立っていた。授業中も、自分が思ったことを伝えるだけで相手の考えをよく聞かなかつたり、自分の考えが通らなくなると「えー」「さあ」「知らない」といったりして、相手の考えをわかろうとしないことが多かった。そこで、言葉づかいを中心に、普段の生活の中から意識して友達の名前をニックネームや「〇〇君」「〇〇ちゃん」といった呼び方で呼ぶことを話し合い、まず友だち同士の関係づくりに取り組んだ。少しずつだが、場面に合わせて呼び方を意識する姿が増えてくるとともに相手を意識することにもつながり始めている。

話し合い活動においては、自分の意見をしっかりと発言することができる子はいるが、発言する子に偏りがみられ、なかなか全員の思いを話し合いの場面にもち出すことができないことが多い。学級テーマ「みんなで協力し合って仲よくクラス(暮らす)」は、人前で表現することが苦手な子の意見も取り入れられるように、それぞれが思いや言葉を書いて表現したものから話し合って選び決めたものである。学級内のことを決めるに当たり、話ができる子も、苦手な子も全員の思いを受けて決めるということを大切にすることを通して、一人一人の思いが積み上げられて学級が作り上げられていることを実感できるような取り組みをしていきたいと考えている。

(2)議題設定の理由

今回の議題は、学級活動の内容「共通事項(1)学級や学校の生活づくり」と関連し、これまでの学級内での友達同士の関わりで生まれた経験や課題を生かして、より一層学級への所属意識をもたせる途中の段階に位置付けている。自分たちで目的に向かった話し合いや準備の活動を重ねる中で、活動を進めるため必要な友達との関わり方を考えたり、そのための言葉の選び方を経験したり、相手の思いをくんで活動を素直に受け入れることができるようになることをねらうものである。

3 指導の構想

本校研究テーマ「学び合いを通して、自他のよさに気づき、豊かな生活を造り出す子ども」に関わって、以下の三つの点から指導・支援する。

(1)視点1 (生活から立ち上げる議題提案)

学級テーマの「みんなで協力し合って仲よくクラス」をもう一度思い起こさせ、今の自分たちがテーマに向けてどのくらいの位置にいるのかを考えさせるため、学級の現状として今話し合いたいことを子どもたちにアンケートを行う。それをもとにして、みんなで作り上げていきたい学級のイメージにむけた活動を行

いたい。今回は、アンケートに出てきた困り感を直接話し合うのではなく、困り感がなくなるときはどのようなことをしている時なのかを班長会の中で話し合って、そこで出た提案活動をもとにして進めていく。また、その活動名についても子どもたちの思いに合わせた名前を全体で選ぶことを通して、自分たちが目指したい姿がイメージできるような名前をもとに、これからの学級の目指す姿につながる集会活動に取り組みさせていきたい。

本題材に関わるであろう問題の掘り起こしとして、主な教材・道徳との関連性を大切にしながら進めていく。

- ・国語「学校生活に生かす話し合いをしよう」
- ・道徳「明るくなった友だち」「絵葉書と切手」

(2)視点2 (相手意識や目的を大切にしたい話し合い活動)

話し合い活動では、自分たちが考えた遊びが学級の目指すところに合う活動であるか、合わせてその活動が今の学級のためにどう必要であるのかを大切にしたい遊びを考えさせていく。そのため、次の活動を取り入れる。

- ・班ごとに取り組みでみたい遊びについて考え提案すること
- ・目的に合わせた中身やルール、活動の意味などを各班での提案の段階で話し合わせる。
- ・紙に書いた提案を事前に掲示し、それをもとに自分の考えを話し合いの前に準備できるようにする。

そこから、活動の中身として勝敗や結果だけで楽しめるのではなく、活動そのものが自分たちで選び決めた「なかよくきょう力しよう会」で学級として目指していきたい姿につながるかどうかを全体のなかで集団決定につなげていきたい。

また、実際の活動の準備では、その活動には取り組んでくれる相手や、準備をしてくれた相手がいることを実感させ、みんなで一緒に「なかよくきょう力しよう会」を作り上げていくことから、相手や場面に合わせた言葉づかいや振る舞いなどを学び、他者との好ましい関わり方につなげていきたい。自分の思いを伝える場面では「ぼくは」「わたしは」という言葉で話すだけでなく、だれの考えなのかを意識させることで、一人一人の考えも大切にしていきながら決定につなげていきたい。

(3)視点3 (よりよい自分・集団への高まり)

振り返りカードを使って、話し合いから準備の活動までの個人の振り返りを書く時間をとる。また、班ごとに考えた活動についても振り返る時間を取り、班としての話し合いの姿や、自分の活動に向けた姿勢について振り返りを班で共有することで、お互いの理解や次への活動の課題と意欲をもたせたい。そして、友達から自分の活動を認められる感覚から、さらなる学級への所属意識の高まりにつながるような振り返りをさせたい。

4 活動計画

	日時	児童の活動の内容	活動の場
事前	9月11日(火)	〈課題の発見〉 ・班長が集まり、今の学級に必要な活動について話し合う。(アンケートから)	休み時間やよつばタイム
	9月13日(木)	〈議題提案〉「なかよくきょう力しよう会をひらこう」 ・目的に合わせた集会活動の名前を決める。 ・取り組みの意義を理解し、活動の計画案を出してもらおう。班ごと活動の中身を話し合う。	学級活動の時間 ワイド昼休み

	9月14日(金)～	<p>〈なかよくきょう力しよう会の準備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょう力しよう会の計画運営 ・各班で活動提案準備 	<p>休み時間</p> <p>よつばタイム</p>
本時	9月26日(水)	<p>〈話し合い活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班からの提案をもとに、今の学級に必要な活動を選び決定する。 	学級活動の時間
事後	9月27日(木)～	<p>〈実施のための計画準備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決めた活動の運営準備 	<p>休み時間</p> <p>よつばタイム</p>
	10月3日(水)	<p>〈なかよくきょう力しよう会の実施〉</p>	学級活動の時間
		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの実施(個人と全体) 	学級活動の時間

5 本時の指導計画

(1)本時のねらい

各班の活動の提案を聞いて、自分たちが決めた「なかよくきょう力しよう会」という名前に合う活動としてふさわしいものを集団決定する中で、自分の考えをもったり、発表したりすることができる。

(2)指導過程

話し合いの流れと予想される児童の意見等	指導上の留意点と支援・評価(◆)
<p>【議長】 【副議長】</p> <p>【黒板書記】</p> <p>1. はじめのことば</p> <p>2. 議題の確認と提案理由の説明</p>	
<p>「なかよくきょう力しよう会」の日が近づいてきています。どの班も学級のみんなが学級テーマに近づけるような活動を考えてくれました。今日は、お互いの提案を聞き、これから先の学級がよりよくなるために、今必要な活動を選び決めていきましょう。</p>	
<p>3. めあての発表と話し合いの見通し</p>	
<p>今日のめあては、「お互いの話をよく聞き、今学級に必要なだと思う内容を自分の考えをしっかりとって活動を選ぶ」です。</p>	
<p>4. 話し合い</p> <p>① 各班の活動の提案</p> <p>② 提案を受けて、今学級として取り組みたい活動を自分の考えをもって選ぶ</p> <p>各班の提案を聞いて、今の学級が目指しているところが達成できるような活動になっているのか自分の考えをもち、選んだものを発表し合おう。</p> <p>③ 活動を選ぶ</p> <p>5. 振り返り</p> <p>6. 先生の話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各班が考えた活動がわかる掲示の準備を事前に行い、この話し合いに臨む前に各班の提案が理解しやすいように掲示させる。 ・各班の話をしっかりと聞き、お互いの活動のよさについて認めたり、その活動を行うことで、これからの学級がどういう姿につながっていくのかを伝え合ったりするように事前伝える。 ・事前に自分の考えを書いたものを準備させ、それをもとに各班の提案を聞いて選べるようにする。 ・めあてに対してどうだったのか、カードの記入を通して確認させる。また、これまでの準備の姿にも触れられるような振り返りを意識させる。
<p>なかよく協力することはとても大切なことであり、これから成長していく中でも、たくさんの場面で必要となる力であること。この会を計画していることが、人との関わり方を積み上げていることにつながっているということ。</p>	
<p>7. 終わりの言葉</p>	<p>◆自分たちが考えた提案をもとにしながら、今の学級に必要な活動を選ぶ中で、自分の考えをもったり、発表したりすることができたか。</p>